

福島県病院協会会報

(No.117)

2023.6



シリーズ④⑦病院の絵画

「護法山 示現寺」

作者 早乙女 貢 氏

医療法人昨雲会 飯塚病院 所蔵

— も く じ —

巻頭言	濟生会福島総合病院 院長 星野 豊 ……	1
講座紹介	「福島県立医科大学附属病院性差医療センターについて」 福島県立医科大学附属病院 性差医療センター 教授 小宮 ひろみ ……	3
寄稿	「病理解剖と CPC（臨床病理症例検討会）の果たす役割」 いわき市医療センター 病理診断センター長 浅野 重之 ……	6
寄稿	「鶴ヶ城ハーフマラソン大会に参加して」 一般財団法人温知会 会津中央病院 臨床検査科 谷ヶ城 弘雄 ……	11
渡辺さんの法律相談室	…………… 弁護士 渡辺 健寿 ……	14
お知らせ I	令和4年度会務報告（令和4年10月～令和5年3月）……………	17
お知らせ II	福島県からのお知らせ（令和4年10月～令和5年3月）……………	29
広報委員会より	作品募集のお願い……………	47
編集後記	……………	48

巻頭言



済生会福島総合病院

院長 星野 豊

皆様初めまして。令和3年11月1日済生会福島総合病院院長を拝命いたしました。不肖私は昭和60年福島県立医科大学医学部を卒業、直ちに当時の第一外科へ入局、以来消化器外科医として大腸癌の手術を中心に長年診療に従事してまいりました者でございます。

最初に済生会の御紹介をさせていただきたいと思えます。明治44年、明治天皇が時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円（現在の約60億円）を下賜されました。これを基金として恩賜財団済生会が創立されました。初代総裁は伏見宮貞愛親王で、現在は秋篠宮皇嗣殿下が第6代総裁を務められております。創立以来約110年の間に全国40都道府県に472施設、そのうち病院81を数える全国でも有数の保健・医療・福祉グループです。

次に福島総合病院ですが、昭和4年福島県庁内に開設された福島診療所が発端です。昭和27年20床の病院に昇格、昭和41年桜木町に移転、170床となりました。そして平成18年市内大森に新築移転し現在に至ります。病床数は216床、常勤医師数22名と小規模ながら福島市内ではケアミックス型病院の代表格と位置付けられています。

さて、やはり新型コロナウイルス感染症についての話題は避けられないようです。本当に昨年の第7～8波は過去最大級で、福島市救急輪番協議会会長福島赤十字病院鈴木恭一院長をして「広域災害」と言わしめる程でした。そんな中コロナ診療と通常診療の両方を維持すべく、福島市内でもコロナ禍中ならではの試みが結実してきました。去年は各病院で同時多発的にクラスターが発生したため、まず時間外の輪番制度が維持できなくなりました。「うちでクラスターが出たので、輪番を替わっていただけませんか?」「いや、うちもクラスターで輪番は難しいです」となってしまったのです。そこで本当に「輪番の丸投げ」が必要なのか?を考えました。3年前ならいざ知らず、クラスターが出た病棟の新規入院を凍結しても、別な病棟では機能維持可能なことが分かってきました。更に外来機能は意外と維持出来ました。そこで市内の各病院で話し合い、クラスターが出たからと言ってすべての診療を制限することなく各々出来る限りの機能を維持しよう、となりました。基本的に輪番日の外来は自院で行い、入院が必要なものの病床不足となった場合に、非輪番病院に入院を依頼する「入院バックアップ」システムです。この時大事な事は「画像診断・血液検査等を行い、診断がついた上で入院治療を依頼」することで、いわゆる「丸投げ厳禁」です。更にコロナ患者数が激減した現在、この発想は「満床を理由とした救急搬

送断り」へのひとつの解決策になるのではないかと、現在救急協議会でも意見交換をさせていただいております。

新型コロナウイルスは我々に多大なる負担を課してきましたが、一方で様々な新しい対策が取られてきています。福島県病院協会の皆様とは、今後も連携してコロナ禍を克服できれば、と願う日々でございます。



福島県立医科大学附属病院 性差医療センターについて

福島県立医科大学附属病院

性差医療センター 教授 小宮 ひろみ

このたびは貴重な執筆の機会を与えていただき感謝申し上げます。

福島県立医科大学附属病院は2008年に性差医療センターを開設いたしました。それ以前は「女性専門外来」（2004年設置）という名称で、週2回患者さんの相談を受け、必要に応じて病院・クリニックを紹介するという振り分け外来でありました。「よく話を聴いてくれる」ということで患者さんの評判は悪くありませんでしたが、患者数は漸減し、辞めるか体制を変更しなければならない状況に陥りました。その後、検査・治療ができる外来として拡充することができ、大学病院や周囲の方々のご理解とご支援に対して深く感謝申し上げます。開設当初、性差医療という概念は社会的には勿論のこと、医療現場でもなかったと思います。そのネーミングから「何をやる外来なの？何の精査をするの？」とよくいわれたことを覚えております。

では、性差医療とはどのような医療でしょうか。日本における性差医療の創始者である天野恵子先生は「男女比が圧倒的に一方の性に傾いている病態、発症率はほぼ同じでも、男女間で臨床的に差をみる疾患、生理的、生物学的解明が男性または女性で遅れている病態、社会的な男女の地位と健康の関連などに関する研究を疾病の診断、治療法、予防措置へ反映することを目的とした医療」と述べておられます。たとえば、種々の疾患や病態での受療率、罹患率、死亡率などの性差を意識することや、一例ではありますが、虚血性心疾患のように、閉経前の女性では、男性に比較すると罹患率は低いのですが、閉経後10年が経過すると、男性にキャッチアップし、最終的には発症率は男性と変わらないということなどがあげられます。さらに、性差医療では生物学的性だけではなく、ジェンダーを重視します。近年、患者さんが抱えておられる社会的背景が健康に大きく影響していることが明らかにされています。

性差医療を実践する臨床の場が女性外来です。国内の女性外来に注目しますと、完全予約制、診療の時間を十分に確保すること（初診30分以上）、診察室はプライバシーを保つということが一般的のようです。また、担当医師も同性が話しやすいという患者さんも多く、女性医師が担当していることが多いかと思えます。

日本の女性外来の変遷と現状についてご説明いたします。女性外来は2001年鹿児島大学病院、千葉県立東金病院に開設されたことから始まります。大学病院をみますと、2003年山口大学医学部附属病院、2007年東京女子医大、2012年岡山大学に設置されております。

その中で、当院は2008年に開設いたしました。大学病院以外でも、2003年には全国で10数か所でありましたが、2006年には400か所以上に開設され、急激に施設数は増加いたしました。

現在どのぐらいの女性外来が全国で立ち上がっているかといいますと、性差医療情報ネットワーク（NAHW）のホームページ（<http://www.nahw.or.jp/>）によれば、2018年308件の施設が記載され、国公立病院18%、大学病院16%、一般病院28%、診療所・クリニック38%の割合でした。以前に比較すると、国公立病院、大学病院が減少し、診療所・クリニック数が増えていることがわかります。

当院の性差医療センターの現状ですが、婦人科、心身医療科、乳腺外科、内科、歯科口腔外科の女性医師に診療の支援をいただき、one-stop shop型の女性総合医療を提供しております。初診患者の受診理由を図1にまとめました。自律神経失調症状が最も多く、次に更年期障害、月経関連症状、器質的疾患（子宮筋腫 子宮内膜症 卵巣嚢胞などの婦人科疾患、多嚢胞性卵巣症候群、早発閉経、不妊の相談など）、不安・うつ・パニックなどメンタル症状、不眠（不眠のみを主訴）があげられます。

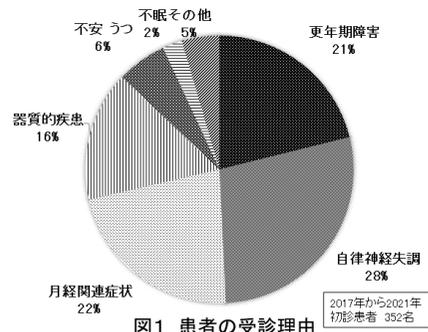


図1 患者の受診理由

性差医療センター婦人科受診患者におけるメンタルヘルスを解析したことがあります（Yoshida-Komiya H et al, *Psychiatry Clin Neurosci*, 2014）。受診患者群におきまして、SDS、STAIを解析した結果、メンタルヘルスは対照群と比較して低下しておりました。また、血清レプチン値をBMIで補正いたしました。対照群と比較して有意に低下しておりました。レプチン遺伝子欠損マウスではうつ、不安などの表現型が現れることが報告されています。ヒトにおいては、うつ・不安と血清レプチンの報告が散見されておりますが、その値が上昇、不変、低下という報告があり、まだ一定の見解はありません。本研究から明らかになったことは、当センターを選んで受診くださる患者さんはメンタルヘルスが低下していることでした。私は産婦人科を専門としており、女性外来に携わる以前も女性患者さんを診療しておりました。開設以来数年は「婦人科医療と何が違うのだろう」と自問自答しておりましたが、本研究により、傾聴・十分な説明が必要な患者さんがいらっしゃることを認識し、女性外来を継続する動機付けになりました。

当院における女性外来の特徴をいくつかお示しいたします。まず、治療法として、漢方をよく処方しております。漢方は性差を意識して発展してきた経緯があります。女性には月経周期、妊娠・出産、閉経など女性特有の生理現象があり、古来、男性に比較し、難治であることが知られておりました。そのために、女性の症状に対して治療効果を高めるために創意工夫して発展してきたといえると思います。当センターでは、自律神経失調症状や更年期障害の患者さんが多く受診され、漢方医療が有効であることを痛感しております。次に、女性外来におけるコメディカルの力は重要です。女性外来の意義を理解し、患者さんに対応してくれるスタッフは治療効果を高めてくれます。当院では、専任の看護師、

医療事務の方が、トリアージや電話対応なども含めて重要な役割を果たしています。他施設では、女性外来において補完代替療法を積極的に取り入れ、効果を上げている施設もあります。多職種の医療従事者が活躍できる医療なのではないかと考えます。最後に、Narrative-based medicine (NBM) です。性差医療はジェンダーを考慮した医療であると申し上げました。セックスは「染色体の構成に由来した生殖器官をその機能に基づいた分類」とされますが、ジェンダーとは「男性か女性としての個人の自己表現、または個人のジェンダー表現に基づいてその人が社会的によってどのように受け止められているか」といわれています。それを考慮した医療を実践するためには、患者さんが社会的・文化的にどのような状況におかれているのかという背景を明らかにする必要があります。開設当時、辛そうな患者さんの多数の訴えに向き合い、「私は何ができるのだろう。」と悩みました。その時、「とにかく患者さんのお話をとことん傾聴しよう。」と考えました。患者さんがおかれている状況での怒り、悲しみなども話してくださることすべてです。そうしている間に、驚いたことに、患者さんが自分はなぜ辛いのかななどを整理し、自分自身が治療に導く、あるいは症状を軽減するケースがあることを経験いたしました。以後、Evidence-based medicine と共に、NBM を実践していくように努めております。

近年、ジェンダード・イノベーションという言葉を目にするようになりました。科学・技術・政策などの分野において性差の観点から新しい視点を見出し、イノベーションを生み出すことを指します。医療やヘルスケアにおいても性差を意識していくことにより、これまで着目されてこなかった女性特有の健康問題を正確に捉え製品やサービスの開発につなげようとしています。2022年には政府が「女性活躍・男女共同参画の重点方針（女性版骨太の方針 2022）」の中でフェムテックとして言及しています。性差の視点をもった医療、健康支援はますます重要性を増してくるのではないかと考えております。

先生方におかれましては、日本性差医学・医療学会（www.jagsm.org）や性差医療情報ネットワークなどホームページをご覧くださいありがとうございます。

当院の性差医療センター（女性外来）は、これまでご支援いただいた大学の先生方、福島県内の医療機関の先生方に感謝しつつ、さらに発展・進化を遂げるように努力していく所存です。今後ともご指導のほどお願い申し上げます。



診察室

外来の風景

待合室



病理解剖とCPC（臨床病理症例検討会）の果たす役割

いわき市医療センター

病理診断センター長 浅野重之

小生は1993年（平成5年）に赴任しましたが、CPC（臨床病理症例検討会）開催が令和5年1月で138回目を迎えました。CPCは、臨床側と病理側が解剖症例を用いて合同で行う症例検討会で、生前診断の再確認、画像や検査所見との整合性および治療の妥当性を議論します。また、原疾患に関連した合併症や偶発病変および死因の解明にまで言及し、将来の診断・治療に貢献することにより、医学の進歩や医療の質の向上、患者さんへのフィードバックが可能になります。さらにこの検討会は、臨床研修医の教育も兼ねており、診療・教育・研究の全てを含む大事な会と言えます。なお、CPC記録は全て磐城共立病院医報およびいわき市医療センター医報に記載されています。

今回は印象に残った数例の剖検（CPC）例について紹介しますが、会員の皆様方の診療の一助になれば幸いです。

① 黄金色の奈良の大仏（水銀中毒症）：

水銀中毒と言えはすぐに水俣病（有機水銀中毒症）が思い浮かぶでしょうが、この剖検例はいわき市の某工場で、防ガスマスクを装着せず、夏の暑い無風状態の日に換気の悪い部署で起こった無機水銀によるガス中毒症です。30人ほどの人が中毒症状を発生し、その中の男性3人が入院してきました。結果的には2週間後に死亡しました。剖検により、1例目は主に肺が、2例目は主に肺と肝に、3例目は肺、肝、腎が傷害されていることが判明しました（図1、2）。工場内で気化した水銀ガスを吸入後、肝で解毒代謝をされても結局腎尿管全てが傷害されたという事故例でした。

主な病理診断：①器質化肺炎、②尿管壊死。

大昔から、金鉱山では鉱石と水銀を一緒に熱してアマルガムとして純金を抽出し、残った水銀は川などに捨てられていました。現在でもアマゾン流域では水銀汚染が後を絶ちません。日本の奈良時代には大仏建立時に銅の大仏に水銀と金の混合物（アマルガム）を塗り、水銀を蒸発させて黄金色の『大仏』を作りましたが（図3）、奈良の都は水銀汚染地区となり、多くの方が水銀中毒症になったことが推測されます。さらに聖武天皇は長生きしたい願望から死しても腐らないようにと中国秦の始皇帝に習って水銀を飲んでいたらと伝え聞きます。戦後の日本では、消毒用の昇汞（ HgCl_2 ）を飲んで自殺する例がありました。結果的には水銀による尿管壊死により腎が破壊されます。

水銀中毒症がご縁で、水俣病研究センターにお呼びいただいて、講演することになりましたが、何とも変な感じで講演したことを覚えております。

*工場関係者（産業医を含む）は労働環境を十分に整備して、安心して労働できる環境整備に心掛けるとともに、労働者には自らの安全を十分に確保するように教育すべきでしょう。投稿論文：J health Science；45(6)：309-317：1999, Toxicological Pathology；27(6)：664-671：1999, Pathology International；50：169-174：2000.

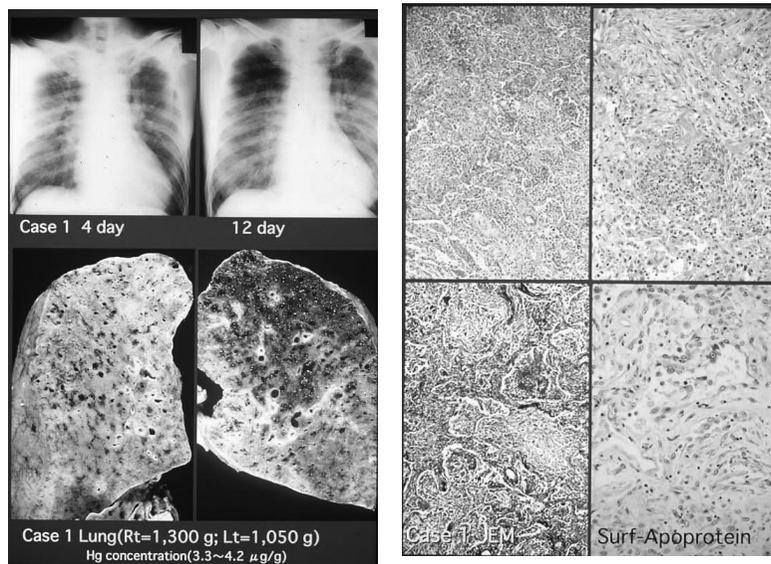


図 1

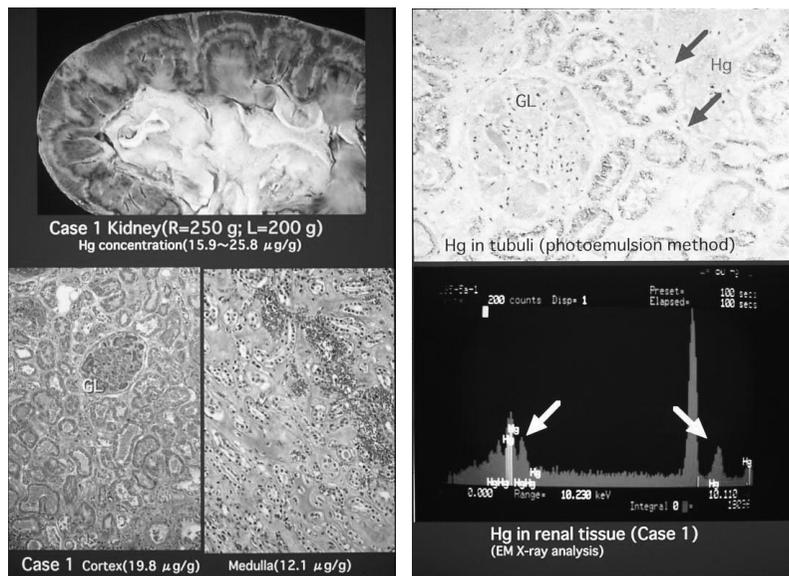


図 2



図 3

② 扁桃炎にご注意（梨状窩瘻）：

数日前より扁桃の具合が悪かった30歳代のご婦人が扁桃炎として治療後も前胸部痛と咽頭痛が強くなり、初診より10日後に自宅の椅子に座ったまま死亡していました。体表からは何の異変も感じ取れなかったが、死後の画像にて、気管の左方偏移、頸部皮下から縦隔にかけての気腫像が見られました。更に、胸腔や心嚢内に液体貯留と空気像が見られました。剖検により、梨状窩瘻に由来する扁桃炎があり、病巣は舌骨下筋群から甲状腺周囲、胸腺、心嚢を取り囲みつつ縦隔・胸腔にまで重力にそって下行しました。降下性壊死性縦隔炎から膿胸となり、重篤な敗血症および腎不全、気道閉塞を起こして死亡したことになります。

主な病理診断：①梨状窩瘻に由来す降下性壊死性縦隔炎、②膿胸、③敗血症性ショック、④びまん性尿細管壊死。

梨状窩は、甲状軟骨内面と披裂喉頭蓋ヒダとの間にできた陥凹で、梨状窩瘻（図4）は同部に開孔部のある瘻孔で、ほとんどは甲状腺上極で盲端となっていることが多く、発生的に第3、4、5鰓弓の組織遺残や甲状腺、胸腺組織および喉頭神経ヒダなどの位置により形成されると言われています。更に、下顎器管の非対称性発生により病巣部は左側に発生することが殆どです。梨状窩瘻は、殆どが20歳以下にみられ、自発痛、圧痛、嚥下痛や繰り返す頸部膿瘍や頸部急性化膿炎がみられます。一般の口腔咽頭部の視診では観察し難く、食道鏡、食道内視鏡およびCTなどを組み合わせて診断することが必要です。

*扁桃炎はありふれた疾患ですが、口腔咽頭部視診の際に、扁桃の近傍にこのように梨状窩瘻があることを銘記すべきでしょう。投稿論文：診断病理；27(1)：40-44：2010。

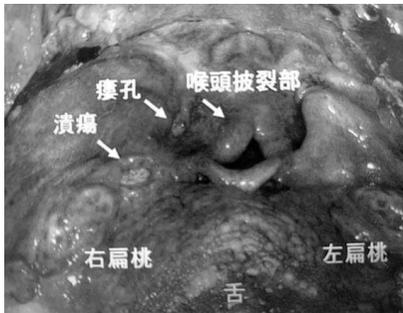


図 4

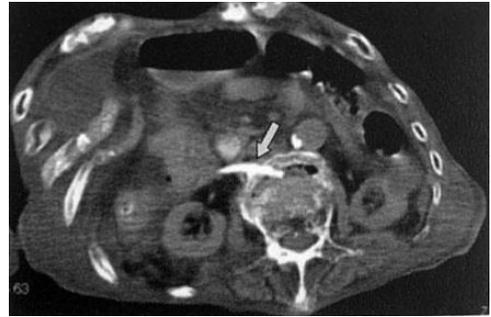


図 5

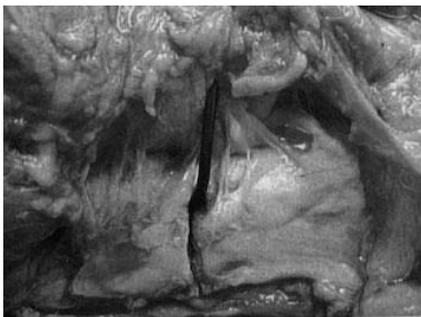


図 6

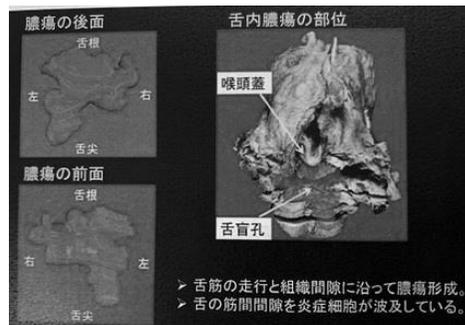


図 7

③ 徘徊するステント（胆管ステント）：

死亡する6年前に胆管炎・胆石症のためにチューブステント（TS）を留置した90歳代の男性が、嘔吐・腹痛で受診しました。CTにてTSの腸管外逸脱および穿孔性腹膜炎の診断で治療されていましたが、腎不全により約1か月後に死亡しました。

主な病理診断：①敗血症、②脊椎側弯症、③椎間板（L2-L3）の膿瘍、④器質化肺炎、⑤上行結腸癌。

*胆管ステント留置には手術同意書が必要ですが、偶発症としてステント逸脱や胆道・膵炎、胆道出血、肝膿瘍のほかにステントの閉塞の可能性があることは説明できますが、本症例のように腸管・椎間板瘻孔（図5、6）から敗血症になることまでの事前説明は不可能でしょう。高齢者が多くなってきている昨今、徘徊老人が多くなるでしょうが、ステントも徘徊するのですね。投稿論文；日本医事新報：4749：3：2015.

④ 自作の病巣鑄型（舌盲孔膿瘍）：

膿瘍の起こりにくい舌膿瘍が原因で気道閉塞と敗血症で死亡した70歳代男性の例です。既往歴には糖尿病と高血圧があります。感冒様症状があり、3日目の真夜中に家で転倒して意識消失し、呼吸が止まっていたので救急搬送されました。急性咽喉炎の臨床診断にて蘇生を試みましたが、病変部の確認は不明であった。病理解剖にて舌盲孔より甲状舌管に沿っ

て細菌感染が起こり、内舌筋の走行に沿って炎症が波及したことが判明しました（図7）。このことにより気道閉塞とともに敗血症性ショックを起こしました。魚骨、異物の取り込みなどは無く、原因は不明ですが、糖尿病など基礎疾患があつて感染症に罹り易かつたものと思われます。この症例の病巣部を詳細に把握すべく、病巣部の連続標本からその部の鋳型を自作の色付きパラフィンで再構築してみました。その結果、既に解剖時に判明した通り、舌盲孔より舌深部に入った炎症細胞は、舌根部で左右に広がり、前方へと波及し、舌筋群と組織間隙に沿って膿瘍が形成されていることがわかりました。

主な病理診断：①舌膿瘍による気道閉塞および敗血症性ショック、②咽頭・喉頭の浮腫および舌扁桃腫大、③全身うっ血著明。

* 釈迦に説法ですが、糖尿病や高血圧症などの基礎疾患のある患者さんは感染しやすいことを念頭に入れて診察されることが大切なのですね。投稿論文：磐城共立病院医報；39（1）：86-90：2018。

以上、解剖例を用いたCPCは、多くの教訓を医療関係者に供与してくれる大事な医療業務です。当いわき市医療センターではCPCの開催には学術教育委員会がその任を仰せつかっており、CPC当日は事務・看護・医療技術の職員が会場設営を分担し、司会進行は委員会に属する医師が分担して行っています。なお、院外の参加者も事前に予約していただければ参加可能です。

図説

図1：両肺はともに腫大し（右、1,300g、左、1,050g）、び慢性器質化肺炎の像で臓器内水銀含有量は、3.3~4.2 $\mu\text{g/g}$ でした。

図2：両腎はともに腫大し（右、250g、左、200g）、び慢性尿細管壊死の像で臓器内水銀含有量は、15.9~25.8 $\mu\text{g/g}$ でした。

図3：西暦751年開眼当時は黄金色（鍍金 376kg、水銀 2,110kg）でしたが、度重なる戦乱のために焼失し、当時のものは台座だけです。現存する像の胴体は鎌倉時代、頭部は江戸時代に再建され、今では金箔の部分は全く見られません。

図4：梨状窩瘻の存在に注目下さい。

図5：X線により、ステントが腸管より逸脱しているのがわかります（⇒）。

図6：解剖時の所見。横行結腸（図の上部）より脱出したステントが椎間板（L2-L3間）（図の下部）に突き刺さっているのが判明しました。

図7：舌盲孔膿瘍の模型図。病巣の連続切片を利用して、自作の色付きパラフィンで膿瘍部を再現すると、病巣の広がりが理解できました。



鶴ヶ城ハーフマラソン大会に参加して

一般財団法人温知会 会津中央病院

臨床検査科 谷ヶ城 弘 雄

私は、以前の鶴ヶ城健康マラソン大会の頃から参加しており、ハーフ部門が増設された鶴ヶ城ハーフマラソン大会になってからは、メディカルランナーとして参加しています。メディカルランナーとは、ランナーとして大会に参加して、競技中に体調不良のランナーを発見したらいち早く医療対応する役目です。私は臨床検査技師なので、消防署の救命講習を受講して資格を得ました。幸いにも未だ体調不良のランナーに遭遇したことはありませんが、いつも周りのランナーに気を配りながら参加しています。

私は、学生の頃からずっと野球をやっていて、練習でたくさん走り込みをしましたが、『走る』というよりは『走らされている』という感覚でしたので、長距離を走る興味もなかったし、ましてやマラソン大会参加などは考えたこともなく、不摂生な生活を送っていました。そんな私がマラソンを始めたきっかけは、15年くらい前に当時の副診療部長より『当院でマラソン同好会を作るから一緒に走らないか?』とお誘いいただいた事です。『せっかく参加するならきちんと練習して参加しよう』と思い、とりあえず毎日5kmを走ることを目標にして1か月間練習して5km部門に参加したら、自分が思っていたよりもずっと早いタイムで走ることが出来ました。練習の成果が出て良いタイムだったことが嬉しいものもありますが、それ以上に完走した後の達成感・爽快感に魅了されて見事にのめり込み、今ではフルマラソンに参加できるほど長く走れるようになりました。昨年の記録を上回るために練習をして大会に臨み、記録更新してさらに高みを目指して来年に向けて練習に励む毎日を送っています。その成果が出て、今回も自己ベストを更新できました。当院のマラソン同好会はマラソン部に昇格し、同好会発足時は副診療部10数名程度でしたが、今や部員70名ほどの大所帯となりました。医師や看護師、事務系職員や関連施設職員など様々な職種・部署の職員が入部しています。マラソン部の活動は部員数増加と比例して活発になり、鶴ヶ城マラソン大会以外にも、バス遠征して県外の大会に参加したり、数チーム結成して駅伝大会に参加して好成績を取めたりしました。そして、メディカルランナーとして参加した大会で、体調不良のランナーに遭遇し、救命活動に参加した経験のある部員も多数在籍するようになりました。そんな活動をしていく中で、部署の垣根を越えて部員同士の絆も深まりました。一人で走るよりみんなで走った方が楽しいし、気持ちも身体も楽に走ることが出来ます。大会参加後の慰労会は非常に盛り上がり、そこで飲む生ビールは最高です（今はコロナ禍でマラソン大会も開催されず、慰労会も開催できない状況で

すが…)。私自身の体重も走り始め当初より20kg程度も減量できているので、今後もますますやめられません。部署を越えた強い繋がりが出来たことにより、日常業務において他部署との連携がスムーズに取れて、何事においても円滑に業務をこなすことが出来るようになりました。マラソンはとにかく良いこと尽くめで実感しています。

大会に参加すると、70歳代もしくは80歳代でもエントリーしている方がたくさんいらっしゃるの、その方々を見習って、今後も身体と相談しながら、無理なく、より長く続けていきたいと思っています。さらに、マラソン部の活動を通して職員同士の絆をより深め、より円滑でより安全な医療を提供できるチーム医療スタッフの一員になろうと思っています。

2022年10月2日 鶴ヶ城ハーフマラソン大会（ハーフ部門）



第34回 会津若松市
鶴ヶ城ハーフマラソン大会
完走証

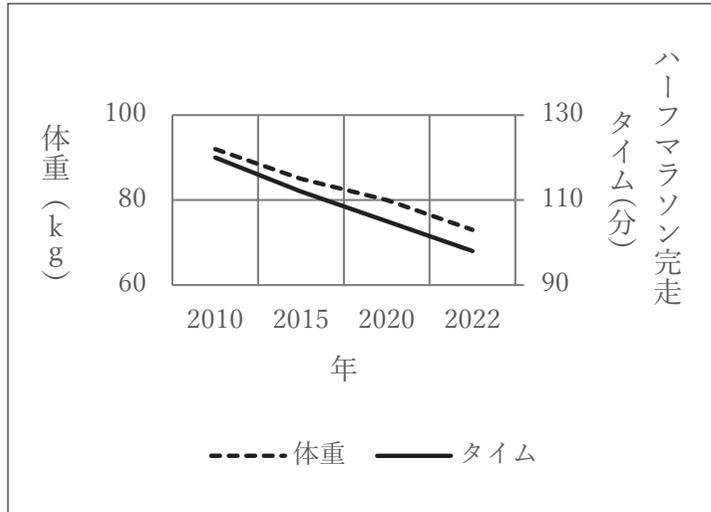
種 目 ハーフ 男子40歳代
ナンバ 353
氏 名 谷ヶ城 弘雄
記 録 1:38:11
ネット 時間 1:38:01
種目順位 40 位
総合順位 129 位

地点名	スプリット	ラップ	通過時刻
10km地点	0:45:18	-	9:12:18
FINISH	1:38:11	0:52:53	10:05:11

あなたは本大会において、表記の記録で
完走されましたので、これを証します。

令和4年10月2日
会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会
実行委員会会長 大橋 哲男

体重とタイムの推移



2022年6月26日 浅川ロードレース (10km部門)

笑顔あふれる 住みよいまち 浅川

花火の里浅川ロードレース

完走証

氏名： 谷ヶ城 弘雄 様

種目： 2部：一般男子40歳代(10km)

ナンバー： 2070

記録： 50分02秒

種目順位： 37位

あなたは、第26回花火の里浅川ロードレース大会において、表記の成績で完走されました。その健闘と健康を讃え、これを賞します。

令和4年6月26日

花火の里 浅川ロードレース大会
会長 寺門 廣之



弁 護 士 渡 辺 健 寿
(渡辺健寿法律事務所)
住 所 福島市宮下町7番16号
T E L (024) 533-6145
F A X (024) 533-6146

施設内での撮影、録音、その公表の禁止

【質 問】

当院では施設内で撮影や録音、それによって得られた画像、動画、音声データをSNSなどにより不特定多数の者に公表する行為を禁じることを検討しています。これらの行為を禁止することは法的に問題ないでしょうか。

【回 答】

病院では患者の病気について等センシティブな個人情報を扱っていますが、昨今のスマートフォンの普及により画像、音声の記録が容易にできるようになったことに加え、SNSアプリの普及により、個人でも容易に撮影、録音データを不特定多数の相手に公表することが容易になったことから、プライバシーや個人情報の侵害の危険性が高まっています。

患者のプライバシーや個人情報を保護する趣旨で、施設内での撮影、録音の制限をしているまたは制限を検討している医療機関は少なくないと思われます。

1 撮影、録音の禁止について

(1) 撮影、録音禁止の法的根拠

施設内での撮影、録音を禁止する法的根拠としては、施設設置者の施設管理権を挙げることができます。民法206条は「所有者は、法令の制限内において、自由にその所有物の使用、収益及び処分をする権利を有する。」としており、所有権に基づく使用収益の権利の効力として施設所有者には包括的な施設の管理権が認められ、権利濫用等の法令違反にならない限り、医療機関施設内における撮影、録音を禁じることができると解されています。なお、施設を賃借している事業者であっても、賃借している施設を賃貸借契約の範囲内で自由に使用、収益することができることから、施設管理権が認められるものと解されます。

撮影については、最高裁判例において、人は承諾なしに、みだりにその容ぼう、姿態を撮影されない自由を有しているとされており（憲法13条、いわゆる「肖像権」）、患者はもちろん、医療機関職員、出入業者にも肖像権は認められます。医療機関の施設内で

自由に撮影行為が行われれば、撮影行為と被撮影者の肖像権などのプライバシー権との衝突が起こることが予測されます。

録音についても、録音がその場の音すべてを取り込むものである以上、録音の対象者だけでなくたまたま録音者の近くにいた患者や医療機関職員の会話が選別されることなく記録されてしまうことも考えられ、録音行為と被録音者のプライバシー権との衝突が起こることが予測されます。

以上のような権利の衝突が発生することは医療機関の運営、管理、平穏な業務遂行の支障となるものであることから、権利の衝突が発生する蓋然性が低い場合を除いて医療機関施設内での撮影、録音を一律禁止とすることも原則として権利濫用には当たらないものと解されます。

なお、患者は医療機関との診療契約関係にあることから、診療契約の内容に撮影、録音の禁止を盛り込むことで、患者による撮影、録音を禁止することも考えられます。

(2) 撮影、録音を禁止できない場合

患者やその近親者等には、インフォームドコンセントの観点から、患者と医療機関の間の診療契約の付随的義務として医療機関は患者が医師からの説明を撮影、録音したいという要望に応える義務があると解する余地もあるため、撮影、録音を事前申請による許可制としたうえで、診察室など場所を指定し、医師が説明を始めてから診察室を出るまでといった時間を指定して、撮影、録音を許可することが考えられます。

また、個室の病室内において患者またはその家族が自身や家族を撮影、録音する場合は、他の患者や医療機関職員の肖像権、プライバシー権を侵害する危険性も低いと考えられることから、撮影の際に騒いで周りの迷惑になるなど特段の事情がない限り撮影、録音を禁止することはできないと解されます。

2 不特定多数の者に公表する行為の禁止について

(1) 医療機関の許可を得ていない撮影、録音データの公表

医療機関の許可を得ずに撮影、録音データを不特定多数の者に公表する行為は、それ自体は医療機関施設内で行われなくとも、医療機関の施設管理権を侵害する行為を拡散する行為であり、二次的に施設管理権を侵害するものと評価できることから、施設管理権を根拠に禁止することができるものと考えます。

(2) 医療機関の許可を得た撮影、録音データの公表

医療機関の許可を得て撮影、録音したデータを不特定多数の者に公表することは、患者自身のインフォームドコンセントに関わる行為ではないので、撮影、録音の行為それ自体とは異なり、医療機関として公表行為を許容しなければならない理由はありません。

許可を得た撮影、録音それ自体は施設管理権の侵害にならないとしても、不特定多数の者に公表した場合、予期せぬ「炎上」が起き医療機関がその炎上に巻き込まれ運営、管理、平穏な業務遂行の支障となる危険性も否定できません。そのため、許可を得た撮影、録音データであっても不特定多数の者に公表する行為を禁止する必要性が認められ、

施設管理権を根拠に禁止することができるものと考えます。

患者との関係では、撮影、録音の禁止と同様に、許可を得た撮影、録音データであっても不特定多数の者に公表することを禁止するとの条項を診療契約に盛り込んでおくことが考えられます。

なお、セカンドオピニオンを得るなどの正当な目的のために、撮影、録音データを他の医療機関等適正な者に提供する行為は、ここに言う公表行為には含まれないのは言うまでもありません。

3 許可なしに撮影、録音が行われた場合の対応

撮影、録音を許可制とする場合、その周知徹底が必要になります。施設のエントランス、待合エリア等に注意書き、ポスター等を掲示するなどしておくことや、受付時に患者やその家族に対して口頭で説明することが考えられます。

もっとも、撮影、録音の禁止を周知しても、無許可で撮影、録音が行われる可能性はあり、無許可の撮影、録音行為を発見したときは医療機関職員から撮影者録音者に対し、撮影、録音の中止、撮影、録音データの削除、施設内からの退去を求めることになります。ただし医療機関職員が強制力を行使して撮影、録音の中止、データ削除、施設内からの退去を実現するのは控えるべきです。撮影者録音者が要請に従わない場合、不退去罪や威力業務妨害罪が成立し得ることから、速やかに警察に連絡し、警察に対応を引き継ぐのが適切でしょう。

令和4年度会務報告（令和4年10月～令和5年3月）

○会 議 等

10月4日(火) 令和4年度第1回広報委員会

○開催方法 Web開催

○時 間 16:00～

○議 題

- 令和4年度広報活動について
- 令和4年度病院協会会報について
- 令和4年度病院協会ニュースについて

○出席者 武市和之常任理事、緑川靖彦常任理事、
星野 豊理事、八巻英郎理事、渡辺直彦理事
渋谷良一事務局長、石堂順子係長

10月5日(水) 令和4年度第1回地域包括ケアシステム推進協議会（Web併用）

○会 場 郡山市 郡山ビューホテルアネックス

○時 間 15:00～

○議 題

- 第1回福島県在宅医療・介護連携支援センター業務運営会議について
- 第1回福島県在宅医療・介護連携支援センター担当者会議について
- 訪問診療動向研修事業について
- 福島県の地域医療・福祉等に関する将来調査事業について
- 各団体からの協議事項について

○出席者 佐藤勝彦会長（Web出席）

10月17日(月) 第33回新型コロナウイルス感染症に係る福島県医療調整本部会議

○開催方法 Web開催

○時 間 10:30～

○出席者 佐藤勝彦会長、渋谷良一事務局長

10月25日(火) 公益財団法人福島県臓器移植推進財団活動報告会及び意見交換会

○開催方法 Web開催

○時 間 18:30～

○議 題

- 上期活動報告について
- 財団活動について

○出席者 佐藤勝彦会長

- 10月27日(木) 令和4年度健康ふくしま21推進県民表彰式における公衆衛生事業功労者の表彰
○会 場 福島市 キョウワグループ・テルサホール1階 FTホール
○時 間 13:15～
○出 席 者 佐藤勝彦会長
- 10月28日(金) 令和4年度第1回総務委員会
○開催方法 Web開催
○時 間 15:00～
○議 題
・令和4年度総務委員会の活動について
・令和4年度新型コロナウイルス感染症に係るアンケート調査結果について
・賛助会員の募集について
○出 席 者 佐久間 啓副会長、六角裕一監事、高萩周作常任理事
洪谷良一事務局長、石堂順子係長
- 10月29日(土) 令和4年度福島県看護職員功労者表彰式
○会 場 福島県看護会館みらい
○時 間 10:00～
○出 席 者 佐藤勝彦会長
- 11月7日(月) 令和4年度第2回福島県看護職員需給計画策定検討会
○会 場 ふくしま中町会館 6階特別会議室
○時 間 15:30～
○議 題
・書面会議の報告と回答
・次期計画のための調査票(案)について
○出 席 者 佐藤勝彦会長
- 11月8日(火) 令和4年度医療施設用ロボット等導入促進事業検証会議
○開催方法 ZoomによるWeb開催
○時 間 15:30～
○出 席 者 洪谷良一事務局長
- 11月11日(金) 第3回感染管理認定看護師養成課程設置準備・運営委員会
○場 所 杉妻会館3階 「百合A」
○時 間 14:30～
○議 題
・養成課程設置準備の進捗状況等について
○出 席 者 佐藤勝彦会長

- 11月11日(金) 福島県原子力損害対策協議会「代表者会議」
○会 場 福島市 ホテル福島グリーンパレス 2階「瑞光西の間」
○議 題
・東京電力からの説明
・質疑応答
○出 席 者 前原和平顧問
- 11月18日(金) 「看護職の働き方フォーラム」
○会 場 福島県看護会館みらい
○時 間 13:00～
○出 席 者 佐久間 啓副会長
- 11月29日(火) ふくしま医療機器産業推進機構 2022年度第1回意見交換会
○場 所 ふくしま医療機器開発支援センター
○時 間 14:00～
○出 席 者 土屋貴男理事
- 11月29日(火) 令和4年度第26回看護補助者研修会 (A日程 大原総合病院)
○開催方法 Web開催
○時 間 13:30～
○参 加 者 40名
○主催者挨拶 佐藤勝彦会長
- 12月1日(木) 令和4年度第1回医療研修委員会
○開催方法 Web開催
○時 間 16:00～
○議 題
・令和4年度医療研修委員会の活動について
・令和4年度医療研修会について
・令和4年度看護補助者研修会について
○出 席 者 本田雅人副会長、斎藤 清理事、佐久間 潤理事、
土屋貴男理事、事務局2名
- 12月2日(金) 第46回「県民健康調査」検討委員会 (Web併用)
○会 場 福島市 ウェディングエルティ 2階「ハートン」
○時 間 13:30～
○議 題
・甲状腺検査について
・健康診査について
・妊産婦に関する調査について
○出 席 者 佐藤勝彦会長 (Web出席)

- 12月2日(金) 令和4年度第26回看護補助者研修会 (B日程いわき市医療センター)
 ○開催方法 Web開催
 ○時間 13:30～
 ○参加者 62名
- 12月6日(火) 令和4年度第26回看護補助者研修会 (C日程 南相馬市立総合病院)
 ○開催方法 Web開催
 ○時間 13:30～
 ○参加者 54名
 ○主催者挨拶 及川友好常任理事
- 12月13日(火) 令和4年度第26回看護補助者研修会 (D日程 柊記念病院)
 ○開催方法 Web開催
 ○時間 13:30～
 ○参加者 53名
 ○主催者挨拶 佐藤勝彦会長
- 12月16日(金) 令和4年度第26回看護補助者研修会 (E日程 寿泉堂総合病院)
 ○開催方法 Web開催
 ○時間 13:30～
 ○参加者 68名
 ○主催者挨拶 佐久間 潤理事
- 12月20日(火) 第79回東電原発事故被災病院協議会 (Web併用ハイブリッド形式)
 ○会場 福島市 福島県医師会館1階「大会議室」
 ○時間 14:00～
 ○協議事項 (座長 前原和平代表)
 ・各病院からの現況報告について
 ○来賓
 ・復興庁福島復興局 中野 岳史 次長
 ・厚生労働省医政局地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室 生駒 隆康 室長補佐
 ・厚生労働省医政局地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室 弘中 貴之 医師確保対策専門官
 ・経済産業省資源エネルギー庁 原子力損害対応室官 樫福 錠治 企画調整官
 ・福島県保健福祉部地域医療課 米良 淳一 主幹兼副課長
 ・福島県保健福祉部地域医療課 安達 翔太 主事
 ・一般社団法人福島県医師会 八巻 秀一 事務局長
 ・衆議院議員金子恵美福島事務所 中川誠一郎 秘書
 ○出席者 来賓8名、会員5病院5名、Web2病院2名、事務局2名

12月23日(金) 第35回新型コロナウイルス感染症に係る福島県医療調整本部会議

○開催方法 Web 会議

○時 間 13:30～

○出席者 佐藤勝彦会長、渋谷良一事務局長

12月23日(金) 福島県原子力損害対策協議会「ALPS 処理水処分に係る風評被害の賠償基準」に関する説明会

○会 場 福島市 ホテル福島グリーンパレス 2階「瑞光の間」

○時 間 13:30～

○議 題

- 処理水処分に係る賠償基準案等への意見に対する回答
- 「他核種除去設備等処理水の放出に伴い風評被害が発生した場合の賠償基準について」(東京電力)
- 「ALPS 処理水の処分に伴う風評被害の賠償に関する国の対応」(経済産業省)

○出席者 代理渋谷良一事務局長

令和5年

1月16日(月) 令和4年度福島県地域医療対策協議会専門部会

○開催方法 オンライン会議 (Zoom)

○時 間 14:00～

○議 題

- (1) 令和5年度自治医科大学卒業医師・修学資金被貸与医師の配置(案)について

○出席者 佐藤勝彦会長

1月20日(金) 令和4年度福島県高齢者権利擁護推進会議 (Web 併用)

○会 場 福島市 杉妻会館 3階「百合」

○時 間 14:00～

○議 題

- 県内の高齢者虐待の状況について
- 成年後見制度利用の促進にかかる体制整備状況等について
- 意見交換

○出席者 佐久間 啓副会長 (Web 出席)

1月20日(金) 福島県医療審議会 保健医療計画調整部会

○開催方法 Web 開催

○時 間 13:30～

○議 題

- 届出による診療所への病院設置について
- 第七次福島県医療計画の進捗状況について

- 出席者 佐藤勝彦会長
- 1月27日(金) 令和4年度「経営管理研修会」(Web併用ハイブリッド形式)
- 会場 福島市 福島県医師会館1階「大会議室」
- 時間 17:00～
- 講演
- ・演題 「日本における専門医制度：歴史と現状」
 - ・講師 一般社団法人 日本専門医機構 理事長 渡辺 毅 先生
 - ・座長 福島県病院協会 佐久間 啓副会長
- 出席者 佐藤勝彦会長他26名
- 2月1日(水) 令和4年度第2回福島県地域医療対策協議会
- 開催方法 Web開催
- 時間 16:10～
- 議題
- (1) 福島県キャリア形成卒前支援プラン(案)について
 - (2) ア、令和5年度自治医科大学卒業医師及び修学資金被貸与医師の配置案について
イ、基幹型臨床研修病院の新規指定について
- 出席者 佐藤勝彦会長、新谷史明副会長
- 2月1日(水) 第36回新型コロナウイルス感染症に係る福島県医療調整本部会議
- 開催方法 Web開催
- 時間 13:00～
- 出席者 佐藤勝彦会長、渋谷良一事務局長
- 2月7日(火) 令和4年度福島県ドクターヘリ運航調整委員会
- 開催方法 ZoomによるWeb開催
- 時間 13:30～
- 議題
- ・ドクターヘリ運航状況について
 - ・ドクターヘリ症例検討会の開催状況(令和3年及び4年度)について
- 出席者 会田征彦常任理事
- 2月15日(水) 福島県立医科大学附属病院長候補者選考会議
- 会場 福島県立医科大学附属病院 きぼう棟3階病院長室
- 時間 13:30～
- 出席者 佐藤勝彦会長
- 2月15日(水) 福島県医療審議会医療法人部会 (Zoomオンラインハイブリッド形式)
- 会場 福島市 杉妻会館3階「石楠花」
- 時間 14:00～

○議 題

- 医療法人の設立及び解散について

○出席者 新谷史明副会長（Web 出席）

2月16日(木) 令和4年度「医療研修会」(Web 併用ハイブリッド形式)

○会 場 福島市 福島県医師会館1階「大会議室」

○時 間 14:00～

○講 演

- 演 題 「実例を踏まえた医療機関に迫るサイバー攻撃への対応」

• 講 師 SOMPO リスクマネジメント株式会社

サイバーセキュリティ事業本部

特命部長 落合 正人 先生

- 座 長 福島県病院協会 本田雅人副会長

○出席者 佐藤勝彦会長他30名

2月16日(木) 医療施設用ロボット等導入促進事業（2022年度）検証会議

○開催方法 Zoom による Web 開催

○時 間 16:00～

○出席者 渋谷良一事務局長

2月21日(火) 第80回東電原発事故被災病院協議会（Web 併用ハイブリッド形式）

○会 場 福島市 福島県医師会館1階「大会議室」

○時 間 14:00～

○協議事項（座長 前原和平代表）

- 各病院からの現況報告について

○来 賓

• 復興庁福島復興局 企画班 佐藤 一幸 参事官

• 厚生労働省医政局地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室
生駒 隆康 室長補佐

• 厚生労働省医政局地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室
弘中 貴之 医師確保対策専門官

• 経済産業省資源エネルギー庁 原子力損害対応室
檜福 錠治 企画調整官

• 経済産業省資源エネルギー庁 原子力損害対応室
阿部 康幸 室長（Web）

• 経済産業省資源エネルギー庁 原子力損害対応室
尾崎 裕一 室長補佐（Web）

• 文部科学省研究開発局 原子力損害賠償対策室
川口 司 次長（Web）

- 福島県企画調整部避難地域復興局 原子力災害対策課
吉田 克己 主任主査 (Web)
- 福島県企画調整部避難地域復興局 原子力災害対策課
伊藤 悠 副主査 (Web)
- 福島県保健福祉部地域医療課 玉川 啓 課長
- 福島県保健福祉部地域医療課 安達 翔太 主任主査
- 一般社団法人福島県医師会 八巻 秀一 事務局長
- 衆議院議員 金子恵美福島事務所 中川誠一郎 秘書

2月22日(水) ○出席者 来賓8名 Web5名、会員6病院9名 Web2名、事務局2名
令和4年度福島県公衆衛生協会第3回役員会 (書面開催)

○議題

- 福島県保健衛生協会会長の選出について
- 福島県公衆衛生協会会則の改正について

○決議者 佐藤勝彦会長

2月22日(水) 令和4年度福島県献血推進協議会 (書面開催)

○議題

- 令和4年度 福島県献血推進計画の進捗状況について
- 令和4年度 献血・供給及び原料血漿確保状況について
- 令和5年度 献血・供給及び原料血漿確保見込みについて
- 令和5年度 福島県献血推進計画(案)について
- 令和5年度 福島県献血推進計画新旧対照表
- 令和5年度 市町村献血目標(案)について

○決議者 佐藤勝彦会長

3月8日(水) 令和4年度第2回常任理事会

○開催方法 Web開催

○時間 16:00~

○議題

- 令和4年度各委員会の活動内容について
- 令和5年度定期総会について
- 「令和6年度福島県予算編成及び医療政策方針に対する要望事項」について

○出席者 佐藤勝彦会長、新谷史明副会長、本田雅人副会長、
及川友好常任理事、菅野智行常任理事、近藤祐一郎常任理事、
武市和之常任理事、高萩周作常任理事、緑川靖彦常任理事、
事務局2名

3月13日(月) 令和4年度第2回福島県地域医療対策協議会専門部会

○開催方法 ZoomによるWeb開催

- 時 間 17:00～
- 議 題
 - 令和5年度地域医療支援教員等の派遣（案）について
 - 令和5年度自治医科大学卒業医師・修学資金被貸与医師の配置（案）について
 - 令和6年度開始臨床研修医の募集定員について
 - 福島県臨床研修病院の新規指定について
- 出席者 佐藤勝彦会長
- 3月17日(金) 令和4年度福島県災害医療対策協議会（書面開催）
- 議 題
 - 福島県災害拠点病院の指定について
- 決議者 鈴木恭一理事
- 3月17日(金) 福島県医療審議会全体会議（Zoom オンラインハイブリッド形式）
- 会 場 福島市 杉妻会館3階「石楠花」
- 時 間 13:30～
- 議 題
 - 新しい医療計画の策定について
 - 医師の働き方改革について
- 出席者 佐藤勝彦会長、新谷史明副会長（Web出席）
- 3月17日(金) 福島県臓器移植推進財団理事会
- 開催方法 ZoomによるWeb開催
- 時 間 19:00～
- 議 題
 - 令和5年度事業計画（案）について
 - 令和5年度収支予算（案）について
- 出席者 佐藤勝彦会長
- 3月20日(月) 2022年度第2回ふくしま医療機器産業推進機構評議員会（Web併用）
- 場 所 ふくしま医療機器開発支援センター
- 時 間 13:30～
- 議 題
 - 2023年度事業計画（案）について
 - 2023年度収支計画（案）について
- 出席者 土屋貴男理事（Web出席）
- 3月20日(月) 令和4年度第3回福島県地域医療対策協議会
- 開催方法 ZoomによるWeb開催
- 時 間 13:30～

○議 題

- (1) 令和5年度地域医療支援教員等の派遣（案）について
- (2) 令和5年度自治医科大学卒業医師及び修学資金被貸与医師の配置案について
- (3) 令和6年度開始臨床研修病院研修医の募集定員について
- (4) 福島県臨床研修病院の新規指定について

○出席者 新谷史明副会長、大木進司理事

3月22日(水) 第47回「県民健康調査」検討委員会

○会 場 福島県立医科大学保健科学科1階「多目的ホール」

○時 間 13:30～

○議 題

- ・甲状腺検査について
- ・妊産婦に関する調査について

○出席者 佐藤勝彦会長

3月22日(水) 令和4年度福島県医療福祉情報ネットワーク協議会第3回理事会

○会 場 福島市 福島県医師会館3階「中会議室」

○時 間 17:30～

○議 題

- ・入会・退会の承認について
- ・令和4年度補正予算案について
- ・令和5年度事業計画について
- ・令和5年度予算案について
- ・会津地域 PHP 連携について
- ・救急運用について
- ・健康パスポートのデジタル対応について

○出席者 佐藤勝彦会長

3月23日(木) 令和4年度福島県救急医療対策協議会

○開催方法 ZoomによるWeb開催

○時 間 15:00～

○議 題

- ・会長の選任について
- ・救急活動プロトコールについて
- ・救急搬送・受入状況等について
- ・#7119について
- ・12誘導心電図伝送システムについて
- ・第8次医療計画について

○ 事業共催（名義後援・名義共催等）

*事業名 「第38回目の愛護デー講演会」

期 日 令和4年10月1日(土)

主 催 福島県眼科医会、(公財)福島県臓器移植推進財団
ライオンズクラブ国際協会332-D 地区

*事業名 「ピンクリボン in 郡山」2022

期 日 令和4年10月2日(日)

主 催 「ピンクリボン in 郡山」実行委員会

*事業名 令和4年度介護対応研修会

期 日 令和5年2月26日(日)

主 催 福島県歯科医師会

*事業名 「福島県医療福祉関連学校・養成所進学相談会」

期 日 令和5年3月4日(土)

主 催 一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会

*事業名 2023年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム

期 日 令和5年3月4日(土)

主 催 公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

○ 広告掲載

*2023年賀 団体・事業所ごあいさつ

掲載日 令和5年1月1日

掲載先 福島民報社

*年賀 新年の御挨拶

掲載日 令和5年1月1日

掲載先 福島民友新聞社

福島県からのお知らせ（令和4年10月～令和5年3月）

通知内容が必要であれば、写しをFAX又は郵送いたしますので、事務局までご連絡ください。

なお、件名頭の★印は冊子や厚手の資料ですので、貸出又は閲覧といたします。

後期高齢者医療の窓口負担割合の見直し等に係る配慮措置の取扱いについて（肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業）（通知）	4 健 第 7239 号 令和 4 年10月 3 日 保 健 福 祉 部 長
後期高齢者医療の窓口負担割合の見直し等に係る公費負担医療等における配慮措置の取扱いについて（肝炎治療特別促進事業）（通知）	4 健 第 7242 号 令和 4 年10月 3 日 保 健 福 祉 部 長
エボラ出血熱に係る注意喚起について（通知）	4 健 第 7208 号 令和 4 年10月 3 日 保 健 福 祉 部 長
「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第27回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業2021年年報」の周知について（通知）	4 健 第 7261 号 令和 4 年10月 3 日 保 健 福 祉 部 長
令和4年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第3四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 3235 号 令和 4 年10月 4 日 保 健 福 祉 部 長
「福島県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施要綱」の一部改正について（通知）	4 健 第 7236 号 令和 4 年10月 4 日 保 健 福 祉 部 長
令和4年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第3四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 3268 号 令和 4 年10月 5 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（通知）	4 健 第 7333 号 令和 4 年10月 5 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染患者受入体制強化事業の実施について（通知）	4 健 第 7332 号 令和 4 年10月 6 日 保 健 福 祉 部 長

令和4年度（下期）医療設備整備事業に係る要望調査について（通知）	4 健 第 7418 号 令和4年10月6日 保健福祉部長
福島県新型コロナウイルス感染症に係る年代別総数の HER-SYS による日次報告の修正機能について（通知）	4 健 第 7462 号 令和4年10月6日 保健福祉部長
令和4年度福島県 CBRNE 研修の開催について（通知）	4 健 第 7451 号 令和4年10月7日 保健福祉部長
サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（依頼）	4 健 第 7541 号 令和4年10月11日 保健福祉部長
令和4年度（下期）医療設備整備事業に係る要望調査について（通知）	4 健 第 7633 号 令和4年10月12日 保健福祉部長
子宮頸がん予防ワクチン接種後に症状が生じた方に対応する支援医療機関の決定について（通知）	4 健 第 7625 号 令和4年10月13日 保健福祉部長
新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分に係る改正について（通知）	4 健 第 7672 号 令和4年10月14日 保健福祉部長
「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第8.1版」の周知について（通知）	4 健 第 7733 号 令和4年10月14日 保健福祉部長
マスクの着用に関するリーフレットについて（通知）	4 健 第 7802 号 令和4年10月19日 保健福祉部長
救急病院の認定について — 一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院 — （通知）	4 健 第 7757 号 令和4年10月19日 保健福祉部長
令和4年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第3四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 3503 号 令和4年10月19日 保健福祉部長

令和4年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（介護人材確保対策事業）の第2次公募について（通知）	4 生 福 第 3488 号 令和4年10月20日 社 会 福 祉 課 長
「令和4年度地域医療構想の実現に向けた病院管理者研修」の受講者の推薦について（通知）	4 健 第 7859 号 令和4年10月20日 保 健 福 祉 部 長
医師法施行規則等の一部を改正する省令の公布等について（通知）	4 健 第 7781 号 令和4年10月21日 保 健 福 祉 部 長
令和4年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金交付要綱の改正及び交付申請について（通知）	4 健 第 7539 号 令和4年10月24日 保 健 福 祉 部 長
今冬のインフルエンザ総合対策の推進について（通知）	4 健 第 7858 号 令和4年10月24日 地 域 医 療 課 長
福島県地域医療復興事業補助金交付要綱の改正及び交付申請について（通知）	4 健 第 7964 号 令和4年10月25日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオ R カプセル）の介護老人保健施設等での円滑な投与について（通知）	4 健 第 7960 号 令和4年10月26日 保 健 福 祉 部 長
「職場における積極的な検査等の実施について（報告依頼）」の廃止について（通知）	4 健 第 8075 号 令和4年10月26日 保 健 福 祉 部 長
季節性インフルエンザ同時流行に備えた体制整備に係る医療用物資の配布について（通知）	4 健 第 8030 号 令和4年10月26日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナ患者受入救急医療機関支援金について（通知）	4 健 第 7992 号 令和4年10月26日 保 健 福 祉 部 長
短期滞在入国者等の新型コロナウイルス感染症に関する医療費の公費負担について（通知）	4 健 第 7857 号 令和4年10月27日 保 健 福 祉 部 長

訪日外国人受入の再開を踏まえた外国人患者受入に関する対応について（通知）	4 健 第 8005 号 令和 4 年 10 月 27 日 保 健 福 祉 部 長
院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）参加申込のオンライン化について（通知）	4 健 第 8191 号 令和 4 年 10 月 31 日 地 域 医 療 課 長
令和 4 年度病院前医療体制における指導研修（初級者）に係る受講者の募集について（通知）	4 健 第 8141 号 令和 4 年 10 月 31 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度救急救命士養成所専任教員講習会に係る受講者の募集について（通知）	4 健 第 8147 号 令和 4 年 10 月 31 日 保 健 福 祉 部 長
「職場における積極的な検査等の実施について（報告依頼）」の廃止について（通知）	4 健 第 8217 号 令和 4 年 11 月 1 日 保 健 福 祉 部 長
高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について（通知）	4 健 第 8223 号 令和 4 年 11 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について（通知）	4 健 第 8279 号 令和 4 年 11 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
「# ThankyouALL キャンペーン」の実施について（通知）	4 健 第 8321 号 令和 4 年 11 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度結核予防技術者地区別講習会（東北地区）の開催について（通知）	4 健 第 8180 号 令和 4 年 11 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
電子処方箋管理サービスの運用について（通知）	4 健 第 8241 号 令和 4 年 11 月 4 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症患者の療養終了時説明資料について（依頼）	4 健 第 6700 号 令和 4 年 11 月 4 日 保 健 福 祉 部 長

救急病院の認定について - 渡辺病院 - (通知)	4 健 第 8413 号 令和 4 年 11 月 7 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度動物由来感染症対策技術研修会について (通知)	4 健 第 8472 号 令和 4 年 11 月 9 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪 番計画表 (第 3 四半期) の一部変更について (通知)	4 生 福 第 4005 号 令和 4 年 11 月 11 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザに係る医療 機関・保健所からの証明書等の取得に対する配慮について (通知)	4 健 第 8466 号 令和 4 年 11 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
県内産科医療機関向け新型コロナウイルス感染症に係る妊産婦対 応のための研修会について (依頼)	4 健 第 8597 号 令和 4 年 11 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
テゼペルマブ (遺伝子組換え) 製剤の最適使用推進ガイドライン (気管支喘息) について (通知)	4 健 第 8742 号 令和 4 年 11 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
ガルカネズマブ (遺伝子組換え) 製剤の最適使用推進ガイドライ ン (片頭痛発作の発症抑制) の一部改正について (通知)	4 健 第 8762 号 令和 4 年 11 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
フレマネズマブ (遺伝子組換え) 製剤の最適使用推進ガイドライ ン (片頭痛発作の発症抑制) の一部改正について (通知)	4 健 第 8763 号 令和 4 年 11 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
エレヌマブ (遺伝子組換え) 製剤の最適使用推進ガイドライン (片頭痛発作の発症抑制) の一部改正について (通知)	4 健 第 8764 号 令和 4 年 11 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症に関する妊婦への対応について (依頼)	4 健 第 7852 号 令和 4 年 11 月 18 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症の経口治療薬「ゾコーバ錠」の取扱い について (通知)	4 健 第 8930 号 令和 4 年 11 月 18 日 保 健 福 祉 部 長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した外来医療体制等を踏まえた新型コロナウイルス抗原検査キットの発注等について（通知）	4 健 第 9277 号 令和 4 年 11 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年医師・歯科医師・薬剤師届出、看護師等業務従事者届出及び歯科衛生士・歯科技工士業務従事者届出について（依頼）	4 保 第 2098 号 令和 4 年 11 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
市町村における乳幼児の新型コロナワクチン接種にかかる医師の支援について（依頼）	4 健 第 9164 号 令和 4 年 11 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
治験計画等の届出の取扱い（申請電子データシステムを利用したオンライン提出）について（通知）	4 健 第 9438 号 令和 4 年 11 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
緊急承認に係る医薬品に関する特例について（通知）	4 健 第 9481 号 令和 4 年 11 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度病院前医療体制における指導医等研修（上級者）に係る受講者の募集について（通知）	4 健 第 9294 号 令和 4 年 11 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠）の医療機関及び薬局への配分について（通知）	4 健 第 9490 号 令和 4 年 11 月 25 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（病床確保料）の取扱いについて（通知）	4 健 第 9679 号 令和 4 年 11 月 25 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症の発生届提出に係る留意事項について（通知）	4 健 第 9293 号 令和 4 年 11 月 25 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症患者の受入体制の確保について（通知）	4 健 第 9480 号 令和 4 年 11 月 25 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 3 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4320 号 令和 4 年 11 月 28 日 保 健 福 祉 部 長

新型コロナ治療薬「ゾコーバ」を投与した際の発生届の取扱いについて（通知）	4 健 第 9763 号 令和 4 年 11 月 28 日 保 健 福 祉 部 長
「医療用物資の備蓄体制の強化について」に係る医療用物資の追加配布について（照会）	4 健 第 9796 号 令和 4 年 11 月 29 日 保 健 福 祉 部 長
年末年始における患者受入体制の確保について（通知）	4 健 第 9903 号 令和 4 年 11 月 30 日 保 健 福 祉 部 長
年末年始及び 1 月から 3 月の日祝日における医療提供体制の確保について（依頼）	4 健 第 9802 号 令和 4 年 11 月 30 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 3 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4408 号 令和 4 年 11 月 30 日 保 健 福 祉 部 長
季節性インフルエンザ同時流行に備えた体制整備に係る医療用物資の配布について（通知）	4 健 第 9996 号 令和 4 年 12 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 3 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4440 号 令和 4 年 12 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 3 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4475 号 令和 4 年 12 月 5 日 保 健 福 祉 部 長
特別なコミュニケーション支援が必要な障がい児者の入院時における支援者の付き添いの受入れについて（通知）	4 健 第 9985 号 令和 4 年 12 月 5 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症に係る検査キットの販売・配布時における案内について（依頼）	4 健 第 9895 号 令和 4 年 12 月 5 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染拡大に備えたチラシについて（送付）	4 健 第 9963 号 令和 4 年 12 月 5 日 保 健 福 祉 部 長

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会におけるヒトパピロー マウイルス感染症の予防接種に関する議論について（通知）	4 健 第 10131 号 令和 4 年 12 月 6 日 保 健 福 祉 部 長
エバシエルド筋注セットの使用期限の取扱いについて（通知）	4 健 第 10038 号 令和 4 年 12 月 6 日 保 健 福 祉 部 長
サイバーセキュリティ対策の強化について（通知）	4 健 第 10214 号 令和 4 年 12 月 7 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪 番計画表（第 3 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4580 号 令和 4 年 12 月 8 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪 番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4627 号 令和 4 年 12 月 12 日 保 健 福 祉 部 長
季節性インフルエンザワクチンの定期の予防接種における接種時 期等について（通知）	4 健 第 10355 号 令和 4 年 12 月 12 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの対応に係るオン ライン診療活用のための医療法上の臨時的取扱いについて （通知）	4 健 第 10244 号 令和 4 年 12 月 12 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザ同時流行下 における薬局での医療用抗原定性検査キットの取扱いについて （通知）	4 健 第 10384 号 令和 4 年 12 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザ同時流行下 における一般用新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス抗 原定性検査キットの販売時における留意事項について（通知）	4 健 第 10389 号 令和 4 年 12 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度医師救急医療業務実地修練に係る受講者の募集につ いて（通知）	4 健 第 10490 号 令和 4 年 12 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度看護師救急医療業務実地修練に係る受講者の募集につ いて（通知）	4 健 第 10496 号 令和 4 年 12 月 15 日 保 健 福 祉 部 長

令和4年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第3四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 4774 号 令和4年12月16日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬「ゾコーバ錠」の取扱いについて（通知）	4 健 第 10542 号 令和4年12月16日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症患者等の受入に係る臨時的な病床の確保等について（依頼）	4 健 第 10601 号 令和4年12月16日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 10631 号 令和4年12月16日 保 健 福 祉 部 長
特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎患者被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法の一部改正について（通知）	4 健 第 10652 号 令和4年12月19日 保 健 福 祉 部 長
福島県循環器疾患発症登録事業の実施について（依頼）	4 健 第 9321 号 令和4年12月20日 保 健 福 祉 部 長
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の公布及び一部施行について（通知）	4 健 第 10547 号 令和4年12月21日 保 健 福 祉 部 長
年末年始の海外渡航者に対する感染症予防啓発について（通知）	4 健 第 10620 号 令和4年12月21日 保 健 福 祉 部 長
福島県年末年始等医療体制強化事業協力金交付要綱の施行について（通知）	4 健 第 10674 号 令和4年12月21日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症患者等への適切なリハビリテーションの提供について（通知）	4 健 第 10722 号 令和4年12月22日 保 健 福 祉 部 長
福島県陽性者登録センターにおける登録対象者の要件変更について（通知）	4 健 第 10845 号 令和4年12月23日 保 健 福 祉 部 長

年末年始の国有ワクチン緊急連絡先について（通知）	4 健 第 10941 号 令和 4 年 12 月 23 日 薬 務 課 長
令和 4 年度福島県新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業（乳幼児・小児接種体制構築のための支援金）の実施について（依頼）	4 健 第 10797 号 令和 4 年 12 月 26 日 保 健 福 祉 部 長
アキシカブタゲンシロルユーセルの最適使用促進ガイドラインの一部改正について（通知）	4 健 第 10898 号 令和 4 年 12 月 26 日 保 健 福 祉 部 長
リソカブタゲンマラルユーセルの最適使用促進ガイドラインの一部改正について（通知）	4 健 第 10899 号 令和 4 年 12 月 26 日 保 健 福 祉 部 長
ディルバルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用促進ガイドライン（肝細胞癌及び胆道癌）の作成及び最適使用推進ガイドライン使用（非小細胞肺癌及び小細胞肺癌）の一部改正について（通知）	4 健 第 10967 号 令和 4 年 12 月 26 日 保 健 福 祉 部 長
年末年始における経口治療薬の投与体制の確保について（通知）	4 健 第 10991 号 令和 4 年 12 月 26 日 保 健 福 祉 部 長
放射性同位元素等の規制に関する法律における未承認放射性医薬品等の取扱いについて（通知）	4 健 第 11080 号 令和 4 年 12 月 28 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パピロビッド R パック）の配分にかかる改正について（通知）	4 健 第 11104 号 令和 4 年 12 月 28 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 11109 号 令和 4 年 12 月 28 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 10918 号 令和 5 年 1 月 5 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症医療従事者支援事業補助金の実施について（通知）	4 健 第 11176 号 令和 5 年 1 月 5 日 保 健 福 祉 部 長

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令等の公布について（通知）	4 健 第 11228 号 令和 5 年 1 月 5 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 5116 号 令和 5 年 1 月 10 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 5176 号 令和 5 年 1 月 11 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 5205 号 令和 5 年 1 月 12 日 保 健 福 祉 部 長
季節性インフルエンザ同時流行に備えた体制整備に係る医療用物資の配布について（通知）	4 健 第 11497 号 令和 5 年 1 月 12 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 5252 号 令和 5 年 1 月 12 日 保 健 福 祉 部 長
「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（通知）	4 健 第 11501 号 令和 5 年 1 月 13 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行下の診療・検査の流れについて（通知）	4 健 第 11554 号 令和 5 年 1 月 13 日 保 健 福 祉 部 長
遠隔医療設備整備事業補助金の活用意向調査のホームページ更新について（通知）	4 健 第 11543 号 令和 5 年 1 月 17 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 5339 号 令和 5 年 1 月 18 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 5369 号 令和 5 年 1 月 19 日 保 健 福 祉 部 長

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの限定出荷の解除について (通知)	4 健 第 11947 号 令和 5 年 1 月 23 日 保 健 福 祉 部 長
インフルエンザ病原体定点の流行期の対応について (通知)	4 健 第 11798 号 令和 5 年 1 月 24 日 地 域 医 療 課 長
抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について (依頼)	4 健 第 11871 号 令和 5 年 1 月 26 日 保 健 福 祉 部 長
福島県医療施設等物価高騰対策事業について (依頼)	4 健 第 12146 号 令和 5 年 1 月 27 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症に係る日次報告の徹底について (通知)	4 健 第 12141 号 令和 5 年 1 月 27 日 保 健 福 祉 部 長
「電子処方箋管理サービスの運用について」の改正について (通知)	4 健 第 12126 号 令和 5 年 1 月 31 日 保 健 福 祉 部 長
電子処方箋管理サービスにおける処方箋及び調剤済となった処方 箋並びに処方情報及び調剤情報の提供に関する情報の送付方法に ついて (通知)	4 健 第 121228 号 令和 5 年 1 月 31 日 保 健 福 祉 部 長
アプロシチニブ製剤の最適使用推進ガイドライン (既存治療で効 果不十分なアトピー性皮膚炎) の一部改正について (通知)	4 健 第 12245 号 令和 5 年 1 月 31 日 保 健 福 祉 部 長
インフルエンザ抗原検査キットの発注等について (通知)	4 健 第 12148 号 令和 5 年 1 月 31 日 保 健 福 祉 部 長
乾燥ヘモフィルス b 型ワクチン (破傷風トキソイド結合体) (販 売名: アクトヒブ) の針なしシリンジ製品の供給開始について (通知)	4 健 第 12306 号 令和 5 年 2 月 1 日 保 健 福 祉 部 長
HPV ワクチン拠点病院整備事業東北ブロック医療者研修会の開 催について (通知)	4 健 第 12304 号 令和 5 年 2 月 1 日 保 健 福 祉 部 長

救急病院の認定について（通知）－福島赤十字病院・大原綜合病院・わたり病院・公立藤田綜合病院・谷病院・太田熱海病院・寿泉堂綜合病院・星綜合病院・綜合南東北病院・今泉西病院・公立岩瀬病院・会田病院・竹田綜合病院・会津中央病院・有隣病院・坂下厚生綜合病院・公立相馬綜合病院・小野田病院・いわき市医療センター・松村綜合病院・呉羽綜合病院－	4 健 第 12179 号 令和 5 年 2 月 1 日 保 健 福 祉 部 長
レナリドミド製剤の使用に当たっての安全管理手順の改訂について（医療機関への注意喚起及び周知徹底）（通知）	4 健 第 12310 号 令和 5 年 2 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染患者受入体制強化事業の実施について（通知）	4 健 第 12302 号 令和 5 年 2 月 2 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 12609 号 令和 5 年 2 月 6 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 12920 号 令和 5 年 2 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
マスク着用の考え方の見直しについて（令和 5 年 3 月 13 日以降の取扱い）	4 健 第 13079 号 令和 5 年 2 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度新型コロナウイルスワクチン個別接種協力金事業の実施について（依頼）	4 健 第 12885 号 令和 5 年 2 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症に係る宿泊療養・自宅療養の公費負担の範囲について（通知）	4 健 第 13081 号 令和 5 年 2 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第 9.0 版」の周知について	4 健 第 13103 号 令和 5 年 2 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
マスク着用の考え方の見直し等（特に医療機関における取扱い）について	4 健 第 13355 号 令和 5 年 2 月 16 日 保 健 福 祉 部 長

サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（依頼）	4 健 第 13351 号 令和 5 年 2 月 16 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パピロビッド R パック）の配分に係る改正について（通知）	4 健 第 13658 号 令和 5 年 2 月 20 日 保 健 福 祉 部 長
公衆浴場等における入浴着を着用した入浴等への理解の促進について（通知）	4 健 第 13694 号 令和 5 年 2 月 20 日 保 健 福 祉 部 長
「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」におけるエンゼルケアの取扱いについて（通知）	4 健 第 13782 号 令和 5 年 2 月 21 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染症医療従事者支援事業補助金（特別手当支援事業）の申請手続き（2 回目）について（通知）	4 健 第 13925 号 令和 5 年 2 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
福島県感染症発症動向調査事業実施要綱の一部改正について（通知）	4 健 第 13468 号 令和 5 年 2 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
救急病院の認定について - 桑野協立病院 - （通知）	4 健 第 13824 号 令和 5 年 2 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について（通知）	4 健 第 14138 号 令和 5 年 2 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
サル痘への対応に係る LC16 ワクチン接種に関する医療法上の取扱いについて（通知）	4 健 第 14139 号 令和 5 年 2 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬の高齢者施設等での投与について（通知）	4 健 第 14087 号 令和 5 年 2 月 27 日 保 健 福 祉 部 長
アベルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（メルケル細胞癌、腎細胞癌及び尿路上皮癌）の一部改正について（通知）	4 健 第 14235 号 令和 5 年 2 月 27 日 保 健 福 祉 部 長

再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づく再生医療等提供計画等の提出等について（通知）	4 健 第 14396 号 令和 5 年 3 月 1 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬ゾコーバ錠の使用にあたっての注意喚起について（通知）	4 健 第 14264 号 令和 5 年 3 月 1 日 保 健 福 祉 部 長
医療事故の再発防止に向けた提言第17号の公表について（通知）	4 健 第 14539 号 令和 5 年 3 月 3 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の配分に係る改正について（通知）	4 健 第 14545 号 令和 5 年 3 月 6 日 保 健 福 祉 部 長
新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について（通知）	4 健 第 14644 号 令和 5 年 3 月 6 日 保 健 福 祉 部 長
救急病院の認定について - 一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院 - （通知）	4 健 第 14394 号 令和 5 年 3 月 6 日 保 健 福 祉 部 長
「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（通知）	4 健 第 14684 号 令和 5 年 3 月 8 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 14613 号 令和 5 年 3 月 9 日 保 健 福 祉 部 長
輸血に関するアンケート調査の実施について（依頼）	4 健 第 14750 号 令和 5 年 3 月 9 日 保 健 福 祉 部 長
令和 4 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪番計画表（第 4 四半期）の一部変更について（通知）	4 生 福 第 6577 号 令和 5 年 3 月 10 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パピロビッド R パック及びゾコーバ錠）の配分について（通知）	4 健 第 15036 号 令和 5 年 3 月 10 日 保 健 福 祉 部 長

2022年梅毒情報について（通知）	4 健 第 15011 号 令和 5 年 3 月 13 日 保 健 福 祉 部 長
福島県医療施設等物価高騰対策事業に係る申請期限の延長について（依頼）	4 健 第 15130 号 令和 5 年 3 月 13 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いにおける初診からの電話や情報通信機器を用いた診療に係る要件の遵守の徹底及び実施状況の報告について（通知）	4 健 第 14979 号 令和 5 年 3 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
医療法施行規則の一部を改正する省令について（通知）	4 健 第 15270 号 令和 5 年 3 月 14 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染防止対策について（通知）	4 健 第 15312 号 令和 5 年 3 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
人血小板濃厚液の使用時の安全確保措置の周知徹底について（通知）	4 健 第 15346 号 令和 5 年 3 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
尹錫悦大韓民国大統領夫妻来日に伴う救急医療体制等について（通知）	4 健 第 15411 号 令和 5 年 3 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関の公表について（通知）	4 健 第 15095 号 令和 5 年 3 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
セミプリマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（子宮頸癌）の作成について（通知）	4 健 第 15409 号 令和 5 年 3 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
トラロキヌマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）について（通知）	4 健 第 15410 号 令和 5 年 3 月 15 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パピロビッド R パック）の一般流通開始について（通知）	4 健 第 15538 号 令和 5 年 3 月 17 日 保 健 福 祉 部 長

ドローンによる医薬品配送に関するガイドラインについて (通知)	4 健 第 15676 号 令和 5 年 3 月 20 日 保 健 福 祉 部 長
令和 5 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪 番計画表 (第 1 四半期) について (通知)	4 生 福 第 6854 号 令和 5 年 3 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
令和 5 年度福島県精神科救急医療システム医療施設ブロック別輪 番計画表 (第 1 四半期) の一部変更について (通知)	4 生 福 第 6955 号 令和 5 年 3 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬 (ゾコーバ 錠及びパピロビッド R パック) にかかる国からの事務連絡につ いて (通知)	4 健 第 15838 号 令和 5 年 3 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
令和 5 年度医療ソーシャルワーカーリーダーシップ研修の開催に ついて (通知)	4 健 第 15300 号 令和 5 年 3 月 22 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬 (ゾコーバ 錠) の一般流通開始について (通知)	4 健 第 15998 号 令和 5 年 3 月 23 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症の感染症上に位置づけ変更に伴う医療 提供体制の移行等に関する病院説明会の開催について (通知)	4 健 第 15915 号 令和 5 年 3 月 24 日 保 健 福 祉 部 長
福島県新型コロナウイルス感染患者受入体制強化事業の実施につ いて (通知)	4 健 第 16310 号 令和 5 年 3 月 29 日 保 健 福 祉 部 長
令和 5 年度医療設備整備事業の意向確認について (通知)	4 健 第 16304 号 令和 5 年 3 月 29 日 保 健 福 祉 部 長
新型コロナウイルス感染症医療従事者支援事業補助金の申請手続 きについて (通知)	4 健 第 16524 号 令和 5 年 3 月 29 日 保 健 福 祉 部 長
ゴールデンウィーク期間中の外来診療体制の確保について (依頼)	4 健 第 16547 号 令和 5 年 3 月 29 日 保 健 福 祉 部 長

「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第28回報告書」の周知について（通知） 4 健 第 16457 号
令和 5 年 3 月 30 日
保 健 福 祉 部 長

新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠）の一般流通後の取扱いについて（通知） 4 健 第 16559 号
令和 5 年 3 月 30 日
保 健 福 祉 部 長

令和 5 年度医療機関向け支援制度の実施予定について（通知） 4 健 第 16595 号
令和 5 年 3 月 30 日
保 健 福 祉 部 長

ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用促進ガイドライン（非小細胞肺癌、悪性黒色腫、頭頸部癌、腎細胞癌、古典的ホジキンリンパ腫、胃癌、悪性胸膜中皮腫、高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する結腸・直腸癌、食道癌、原発性不明癌及び尿路上皮癌）の一部改正について（通知） 4 健 第 16473 号
令和 5 年 3 月 31 日
保 健 福 祉 部 長

「精神保健指定医の新規申請等に係る事務取扱要領の制定について」の一部改正について（通知） 4 生 福 第 7288 号
令和 5 年 3 月 31 日
保 健 福 祉 部 長

作品募集のお願い

～『受け身の姿勢からは停滞しか生まれません』～

広報委員会

一般社団法人福島県病院協会会報の発行につきましては、会員より有形無形にご支援とご協力を賜りまして感謝申し上げます。

おかげさまを持ちまして、1973年に『医療体制の確立に邁進するため、会員（当時は78会員）の意見や随筆等を掲載して相互の緊密を図る』目的で創刊号が刊行されて以来、先哲の伝統を継承し「No.117」を数えることとなりました。

広報委員会では、更なる新たな歴史の創造を期し、より多くの皆様に興味・関心を頂戴できる親しまれる会報づくりを目指しております。そのためには皆様方からの積極的なご投稿が欠かせません。広報委員会では、下記の枠にあるような企画で編集を行っております。

つきましては、各病院の先生方、事務長さん、看護師長さんをはじめとした関係各位の玉稿及び作品の応募が不可欠です。また、会報編集上の新しい企画へのアイデアも募集しております。ふるってご応募、またのご意見を賜りますようお願いいたします。

表紙：病院所蔵の絵画（絵画解説の文言）
評論：医療政策、医療保険、介護保険、救急医療、病診連携、初期研修、機能評価、広告規制、診療情報開示などの医療に関するご意見や提言。
学術：原著、症例報告、研究紹介、学会印象記、講演記録など。
随想：心に思い浮かぶことを書き綴った作品。
旅行記：国内・外旅行、個人・団体旅行の記録や感想。
文芸：俳句、短歌、川柳、詩、小説、童話など。
芸術：絵画、書道、写真、イラスト、図表など。

現在、会報は年2回発行する編集計画です。多くの皆様からの原稿は事務局におきまして、常時受付けております。

投稿に際しましては、原稿用紙、パソコンでの原稿のいずれでも結構です。

『受け身の姿勢からは停滞しか生まれません』、作品を自分自身のみで温めて置かず、是非とも積極的にご投稿いただきたく、編集子一同心待ちにしております。

なお、お問い合わせ及び原稿送付先は「一般社団法人福島県病院協会事務局」です。

編集後記

2023年5月8日新型コロナウイルス感染症は感染症法の分類上、第2類から第5類へと変更され、季節性インフルエンザと同様の対応に位置づけられました。

私たちはこの3年間、このウイルスと対峙し、それに実際に対応し、さらには日常生活も含めてコロナウイルスパンデミックのさまざまな予測、可能性とも格闘して参りました。今後の大きな9波の可能性、さらなる病床逼迫の可能性、行動制限の可能性など。少なからず、多種多様な可能性に翻弄されてきました。考えてみますと、私たちの日常診療、治療の場面では、いまや、この“可能性”という言葉ばかりが多用されて、目立っているかともいえます。いかに不確実な現実の世界にいるか、どれほどその渦中にどっぷり浸かっているか、思わず苦笑してしまいます。どうしても、他人の可能性の言及には閉口しがちですね。

さて、福島県病院協会会報 No.117ですが、巻頭言は済生会福島総合病院院長の星野豊先生に済生会の紹介とともにコロナ禍での困難そして克服について、講座紹介では、福島県立医科大学附属病院性差医療センター教授、小宮ひろみ先生に性差医療について、その歴史と内容を詳述していただきました。寄稿では、いわき市医療センター病理診断センター長の浅野重之先生に、「病理解剖とCPC（臨床病理症例検討会）の果たす役割」について、興味深い病理解剖症例の詳細について、会津中央病院臨床検査科、谷ヶ城弘雄先生には、「鶴ヶ城ハーフマラソン大会に参加して」の内容で、レベルアップ、シェイプアップの両方の達成とともに爽やかな寄稿をいただきました。

渡辺さんの法律相談室では、弁護士の渡辺健寿先生に、施設内での撮影、録音、その公表の禁止について詳述していただきました。

本会報も、内容盛りだくさんです。しばしお楽しみいただけたらと存じます。

(文責：緑川靖彦)

URL <https://fukushima-ha.or.jp/>

2023年6月

発行人 福島市新町4-22

(福島県医師会館内)

一般社団法人 福島県病院協会 TEL (024)521-1752

会長 佐藤勝彦 FAX (024)521-2986

印刷所 福島市庄野字柿場1-11 TEL (024)593-5111

株式会社 阿部紙工